

第14回菊池市人権フエスティバル特選作品

【作文の部】

「自分たちのできる事」

菊池南中3年 富岡志帆

みなさんは世界に目を向けて見た事がありますか。私たちは、あたりまえのように学校に通ってますよね。世界には、労働を強いられている子どもたちが大勢います。花火製造のような危険な労働に子どもたちが使われているところもあります。児童労働の七割は農業が占めています。子どもたちは働いているため学校には行けず、そのため読み書きが出来なくて大人になっても賃金の高い仕事に就けないというような事になり貧困から抜け出せなくなっているのです。児童労働を解決するには、自分たちや大人の意識を変える事だと思います。例えば「NGO」の活動です。「NGO」とは、子どもの教育や貧困家庭の自立支援を行う事です。今、私たちが学校に通っている事は幸せだなと思えました。

次に、栄養失調の子どもたちについてです。私たちは、毎日三食栄養のあるおいしいご飯を食べていますよね。世界の子ども

もたちは、一日一食まともに食べられないような生活をしています。栄養失調というのは、食べ物足りない、品質が良くないために起こるものです。アフリカのニジェールでは、国土の3分の2がサハラ砂漠に覆われており、作物の育つ土地が少ない上に干ばつなどから食糧問題は深刻です。栄養失調の治療には、今まで、主にミルクが配給されていましたが、最近ではプランピーナッツという栄養治療食が配られています。アンゴラでも内戦の影響で435万人が栄養失調に陥っています。

私が、なぜこのようなことに目を向けるようになったかという、社会の授業で見たビデオです。ビデオでは、心が打たれるような光景がたくさんありました。次に、現在、菊池南中学校で取り組んでいるSDGsについてです。SDGs（持続可能な開発目標）とは、2030年までに達成すべき17の目標の事です。日本でのSDGs認知度は19%と、まだまだ低いのが現状です。SDGsへの日本の身近な取組は、私たち一人一人

にも密接に関わっている問題です。それを、いかに自分事として知り、気づき、関わり、取り組むのが大切です。私は、この3つの事をふり返って、自分たちが知っておくべき事やできることはたくさんあるなと思いました。日本だけ見るとはなく世界のことについてもしっかりと見たいなと思いました。たくさんボランティア活動などにも積極的に参加したいです。（作文は一部抜粋）

【ポスターの部】

七城小6年 佐々木結吏



問い合わせ先 人権啓発課
0968(25)7209

「はい!こちら菊池市消費生活センターです!」 (63)

問い合わせ先 菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450
(月)〜(金)午前10時〜正午、午後1時〜午後4時 福祉課

「電気代が安くなる」という勧誘に注意しましょう

クレジットカードの不正使用に注意!

電力小売自由化に伴い、新たに加わった事業者からの勧誘が増えています。一方で、電力小売に関するトラブル相談も増えています。

最近、クレジットカード情報の漏洩により、身に覚えのない請求がきたという相談が増えています。被害をくい止めるためには、不正使用にいち早く気づくことが重要です。カードを使用したらメール通知が届くようになり、月毎のカードの請求明細をきちんとチェックしたりして、おかしいと思ったらすぐにカード会社に連絡するようにしましょう。

▼「電気代が安くなるから」と言われ、検針票を見せたらいつの間にか電気契約先が変わっていた。
▼「電気メーターが古いので新しいものに交換する」と言われ、書面にサインしたら電気契約先が変更されていた、など。

相談を受け付けています

事業者を変更したら料金の二重請求があったり、事業者の経営難で電力の安定供給に不安を抱かせたりするようトラブルが全国的にも報告されています。電気料金は市場価格に応じて価格が変動することに注意してください。「電気代が安くなる」という言葉につられることなく、十分説明を聞き、契約条件や、従来の契約先との比較などを行い、慎重に検討しましょう。不安がある場合には消費生活センターに相談してください。

消費生活センターでは、専門の相談員が常駐しています。相談は無料です。電話相談も受け付けています。詳しくはお問い合わせください。



お電話した
ら必ず
お電話ください